

# 消火器の使用方法

## (1) 適応性

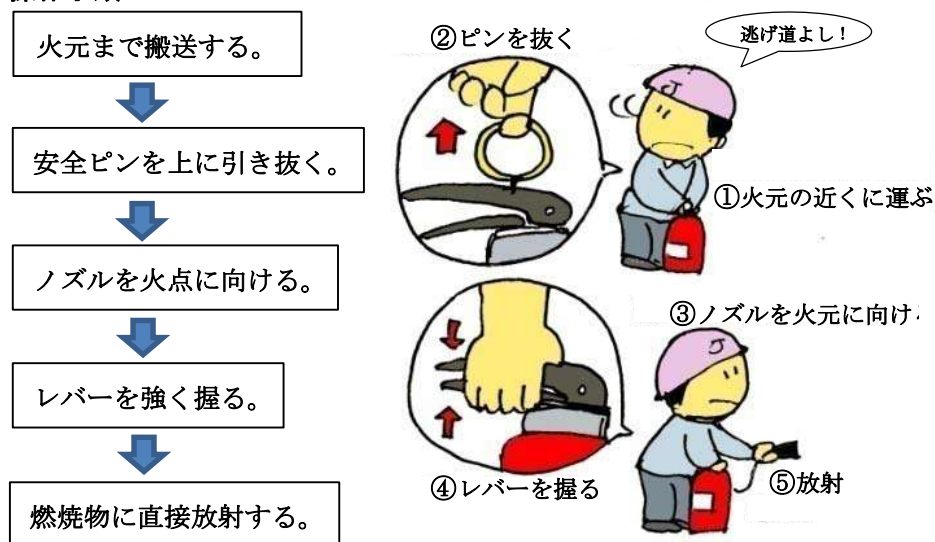
火災種別における消火器の適応性

火災種別	消火器の区別			
	粉末 消火器	強化液 消火器	二酸化炭素 消火器	泡消火器
一般火災（木材、紙、繊維類等）	○	○	×	○
油火災（ガソリン、灯油、重油 天ぷら油等）	○	○	○	○
電気火災（配電盤、変圧器、電気 配線等）	○	○	○	×

※消火器に貼られている表示を確認してください。（表示の色に適応する火災に使用できます）

○**白**＝一般火災    ○**黄**＝油火災    ○**青**＝電気火災

## (2) 操作手順



- ア 火元に近づきすぎず、姿勢は低く、適切な距離を保つこと。
- イ 屋外で風のある場合は、風上から放射する。
- ウ 消火器を使用した初期消火では、吹き返しや燃焼物が飛散するので注意する。
- エ 粉末消火器による消火は、水のように浸透力がないので、燃焼物の深部まで完全に消火することはできないため、最後に水による消火を行う。
- オ 日頃から消火器の設置場所、消火器に表示してある適応火災、放射時間、放射距離を確認する。
- カ 退路を確保し、「出火室内が延焼拡大中」や「天井等に火災が達した状態で延焼中」では、無理せずに避難を開始すること。